

REX-BTIREX1

Bluetooth 対応 リモコンユニット

ユーザーズマニュアル

2015年4月 第2.0版



ラトックシステム株式会社

 **RATOC Systems, Inc.**

安全にご使用いただくために

安全にご使用いただくために

本製品は安全に十分配慮して設計をおこなっていますが、誤った使い方をすると火災や感電などの事故につながり大変危険です。ご使用の際は、警告/注意事項を必ず守ってください。

表示について

この取扱説明書は、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、火災や感電などにより、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、感電やその他の事故により、人が負傷または物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。



警告

本製品と添付品（ACアダプター含む）の取り扱いについて

- 製品の分解や改造等は、絶対におこなわないでください。
- 無理に曲げる、落とす、傷つける、上に重い物を載せることはおこなわないでください。
- 製品が水・薬品・油等の液体によって濡れた場合、ショートによる火災や感電の恐れがあるため、使用しないでください。

ACアダプターの取扱いについて

- 指定の製品以外に使用しないでください。
- 指定された電源電圧以外での使用やタコ足配線はしないでください。
- 雷が鳴り出したら本製品に触れないでください。
- 煙が出る、変な音やにおいがする場合はすぐに本製品をコンセントから抜いたあと、弊社サポートセンターに連絡してください。
- 電源コードを無理に曲げる、傷つける、上に重い物を載せるなどはしないでください。
- コンセントから抜くときは電源コードを引っ張らないでください。
- 長時間使用しないときは本製品をコンセントから抜いてください。



注意

- 本製品は電子機器ですので、静電気を与えないでください。
- 本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様です。日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。
- 高温多湿の場所、温度差の激しい場所、チリやほこりの多い場所、振動や衝撃の加わる場所、磁気を帯びた物（スピーカー等）の近くで保管しないでください。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送機器など人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器での使用は意図されておりません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故/火災事故/その他の障害が発生した場合、いかなる責任も負いかねます。
- 配線を誤ったことによる損失、逸失利益等が発生した場合でも、いかなる責任も負いかねます。

電波に関する注意

REX-BTIREX1は工事設計認証を取得しています。



[R] 201-140077

本製品に組み込まれた無線設備は、本製品に実装して使用することを前提に、認証を取得しています。従って、組み込まれた無線設備を他の機器へ流用した場合、電波法の規定に抵触する恐れがありますので、十分にご注意ください。

本製品は 2.4GHz 帯域の電波を利用しており、この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことをご確認ください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

（連絡先）ラトックシステム サポートセンター

大阪：06-6633-0190 東京：03-5207-6410

<https://web1.ratocsystems.com/mail/support.html>

<現品表示内容の意味>



- | | | |
|---|---|--------------------------------------|
| 2.4 | … | 2.4GHz 帯を使用する無線設備を表す。 |
| FH | … | 変調方式が周波数ホッピングであることを表す。 |
| 1 | … | 想定される与干渉距離が 10m 以内であることを表す。 |
|  | … | 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。 |

もくじ

安全にご使用いただくために	2
安全にご使用いただくために	2
電波に関する注意	3
もくじ	4
1. はじめに	6
1-1. 内容物の確認	6
1-2. 各部の名称と機能	6
1-3. 赤外線有効範囲	7
1-4. 対応機種	7
1-5. 使用上の注意	7
2. 準備する	8
2-1. 本体の電源を入れる	8
2-2. アプリのインストール	8
2-3. スマホと本製品をBluetoothで接続する	8
3. リモコンを登録 (学習) する	11
3-1. 本製品に家電製品を登録するまでの流れ	11
3-2. アプリにプリセットデータを登録する	12
3-2-1. テレビ/セットトップボックスを登録する	13
3-2-2. ブルーレイ/DVDレコーダーを登録する	14
3-2-3. エアコンを登録する	15
3-2-4. 照明を登録する	16
3-2-5. その他の家電製品を登録する	17
3-3. アプリに手動で学習させる	18
3-3-1. テレビ/セットトップボックスを学習させる	18
3-3-2. ブルーレイ/DVDレコーダーを学習させる	19
3-3-3. 照明を学習させる	20
3-3-4. その他の家電製品を学習させる	21
4. 家電製品を操作する	22
5. 登録した家電製品を編集する	23
5-1. 家電製品の編集	23
5-1-1. ボタンの追加 (お好み設定)	24

5-1-2. ボタンの編集 (ボタンの再学習)	25
5-1-3. ボタンの削除 (ボタンの学習内容削除)	26
5-2. お好み設定で追加した家電製品の編集	27
6. タイマー機能を使用する	29
6-1. iOSでタイマー機能を使用する	29
6-2. Androidでタイマー機能を使用する	33
7. 登録した家電製品を他のスマホにコピーする	36
7-1. アプリからエクスポートする.....	36
7-2. アプリにインポートする	39
8. こんなときは.....	42
8-1. 本体が複数台ある場合、切り替えて使用する	42
8-2. 名前を変更して本体を判別したい.....	44
8-3. 登録済み家電製品を編集する.....	46
9. ファームウェアアップデート.....	48
10. お問い合わせ	51
10-1. お問い合わせ	51
10-2. 修理について	51
11. 一般仕様.....	52

1. はじめに

この度は本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。未永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。本書は本製品の導入ならびに運用方法を説明したマニュアルです。正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず本書をよくお読みください。

本文について

- ・ 本文では iPhone や Android 携帯、タブレットなどを「スマホ」、登録したリモコンのデータを「家電製品」、製品本体を「本体」と記載します。
- ・ 本文では、iPhone 5s (iOS8) と GALAXY S4 (Android4.3) を例に説明します。
- ・ 記載している内容は、本書制作時点（アプリ Ver.は下記参照）のもので、名称、画面など変更されている場合があります。

[アプリ Ver.] iOS : 1.2.3 / Android:1.2.4

▶ 1-1. 内容物の確認

パッケージの中に下記の物がすべて揃っているかご確認ください。

万一不足がありましたら、お手数ですが弊社サポートセンターまたは販売店までご連絡ください。

- ・ 製品本体
- ・ USB AC アダプター
- ・ USB ケーブル (Micro-B⇔USB 標準 A)
- ・ セットアップガイド
- ・ 保証書

▶ 1-2. 各部の名称と機能

学習 LED (赤色)

学習モード時、点灯
赤外線送信時、点滅

電源 LED (青色)

電源 ON 時、点灯

予約 LED (赤色)

タイマーの予約時、点灯

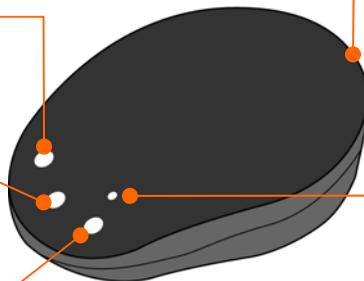
電源コネクタ (USB Micro-B)

添付の USB ケーブルを接続



LINK LED (青)

接続時、2 回点滅
非接続時、1 回点滅



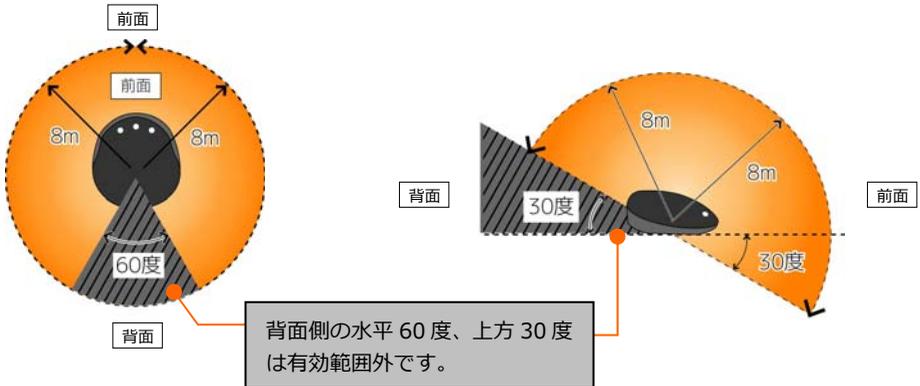
▶ 1-3. 赤外線有効範囲

本製品の赤外線有効範囲は、水平方向に最大 360 度、垂直方向に最大 180 度です。家電製品に赤外線が届かない場合は、下図の有効範囲を参考に、本製品の設置場所や向きを調整してください。

※有効範囲は見通し距離です。周囲の環境により有効範囲は短くなります。

[真上から見た図]

[真横から見た図]



▶ 1-4. 対応機種

Bluetooth を搭載した以下のスマートフォン、タブレット

- ・ iOS6.0 以降の iPhone (6/6 Plus/5 s /5 c /5/4 s)、iPad (第 4/3 世代)、iPad Air、iPad Air 2、iPad mini 3、iPad mini 2、iPad mini、iPod touch (第 5 世代)
- ・ Android 4.0 以降

▶ 1-5. 使用上の注意

- ・ プリセットデータには全てのリモコンボタンが登録されているわけではありません。
- ・ リモコンボタンをタップしてから信号が送信されるまで、若干時間がかかります。
- ・ エアコンはプリセットデータのための対応となります。
- ・ 家電製品は各カテゴリー（テレビ/セットトップボックス、ブルーレイ/DVD レコーダー、エアコン、照明、その他の家電製品）につき 10 台まで、合計 50 台まで登録可能です。
- ・ スマホの電源 OFF からの復帰時、再接続するまでに若干時間がかかる場合があります。

2. 準備する

▶ 2-1. 本体の電源を入れる

下図のように本体と添付のUSBケーブル、USB ACアダプターを接続します。

※本体に電源ボタンはありません。ACアダプターをコンセントに差すと電源が入ります。



▶ 2-2. アプリのインストール

携帯端末に本製品専用アプリ「学習リモコン」(以降、本書ではアプリと呼びます)をインストールします。

※ネットワークを利用したダウンロードには別途パケット通信料が必要となります。



1. App Store もしくは Google Play で「学習リモコン」と入力し、検索してください。
2. 検索されたアプリをインストールします。
※インストールが完了してもアプリは開かないでください。



※画面例は iOS の場合です。

▶ 2-3. スマホと本製品をBluetoothで接続する

▶▶ 2-3-1. iOSと接続する

※画面は iOS8 の場合です。その他の iOS では設定方法や画面が異なります。

1. [設定]をタップします。



2. [Bluetooth]をタップし、“Bluetooth”をオンにします。



3. “接続可能デバイス”欄から [SMART REMOCON]を選択します。



本体が複数台ある場合

接続可能デバイスに複数の [SMART REMOCON]が表示されます。
複数台とペアリングすると、アプリでリモコンの選択が可能になります。



4. 表示されたパスコード入力画面に、[0000]と入力し[OK]をタップします。
ペアリングが完了すると、“ペアリング済みデバイス”に表示されます。



5. アプリをタップして起動すると、本製品との接続が始まります。“家電製品選択”の画面が表示されると、接続完了です。

※本製品と接続されない場合は、アプリを一度終了して、Bluetooth の設定をオフにし、再度オンにしてください。



一度も本製品と接続したことがない状態で、複数台とペアリングした場合

アプリを起動すると選択画面が表示されます。本体の名前(例は SmartRemocon1) を選択し、[LED を点灯] をタップして、赤色の学習 LED が点灯する本体を確認してください。使用する本体に決める場合は、[選択完了] をタップします。



※一度接続すると、アプリ起動後は、最後にペアリングした本体に自動で接続されます。



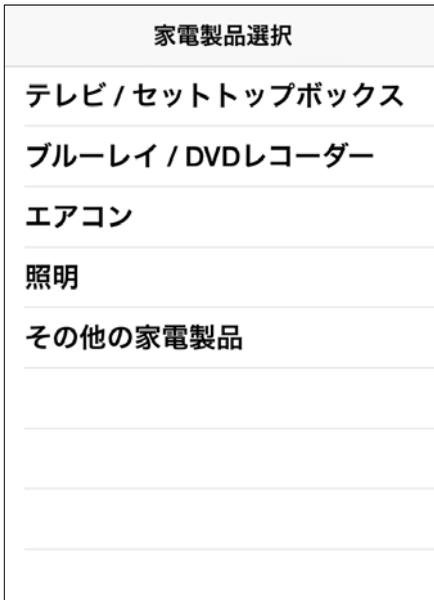
▶ 3-2. アプリにプリセットデータを登録する

本製品はあらかじめ、主要メーカーの家電製品のリモコン信号を記憶しています。（本製品ではこれをプリセットデータと呼びます。）

家電製品、メーカー、モデルを選択するだけで使用できるようになります。

※画面はiOSの場合です。Androidでは、画面が若干異なる場合があります。

1. アプリを起動します。 
2. 表示された“家電製品選択”画面で、登録する家電製品を選択します。
該当するものがない場合は、[その他の家電製品]を選択してください。



 登録済みの家電製品がある場合

アプリを起動すると、下図の“登録済み家電製品一覧”画面が表示されます。[追加 (Androidは家電製品追加)] をタップし、“家電製品選択”画面に切り替えてください。



※iOSの場合、表示された選択リストが表示から[新規作成]をタップしてください。



3. 各項に進み、家電製品を登録してください。

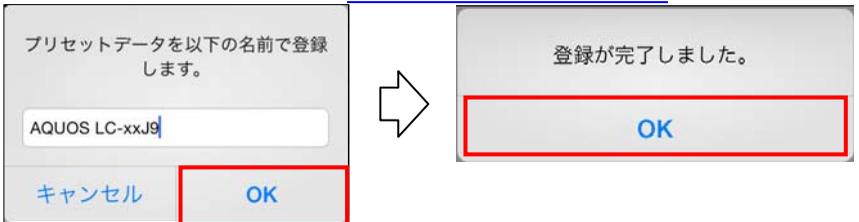
[テレビ/セットトップボックス]を選択	⇒	「3-2-1.テレビ/セットトップボックスを登録する」 へ
[ブルーレイ/DVDレコーダー]を選択	⇒	「3-2-2.ブルーレイ/DVDレコーダーを登録する」 へ
[エアコン]を選択	⇒	「3-2-3.エアコンを登録する」 へ
[照明]を選択	⇒	「3-2-4.照明を登録する」 へ
[その他の家電製品]を選択	⇒	「3-2-5.その他の家電製品を登録する」 へ

▶▶ 3-2-1.テレビ/セットトップボックスを登録する

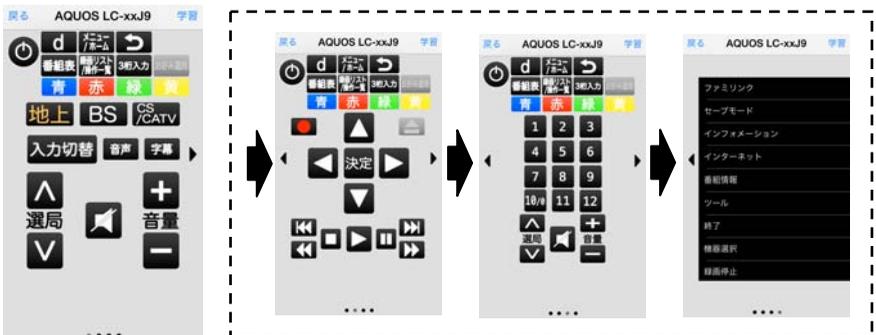
1. 「[3-2.アプリにプリセットデータを登録する](#)」の手順で、[テレビ/セットトップボックス]を選択します。
2. “メーカー選択”画面、“モデル選択”画面が表示されます。順番に選択してください。該当するものがない場合は、[手動で学習する]を選択してください。学習手順は「[3-3-1.テレビ/セットトップボックスを学習させる](#)」をご参照ください。
※ここでは例として、シャープを選択して説明します。



3. 名前を登録します。プリセットデータにはあらかじめ名前が入力されています。変更する場合は、名前を入力してから[OK]をタップしてください。「登録が完了しました。」と表示されます。[OK]をタップして登録完了です。
※名前は後から変更できます。詳細は「[8-3.登録済み家電製品を編集する](#)」をご参照ください。



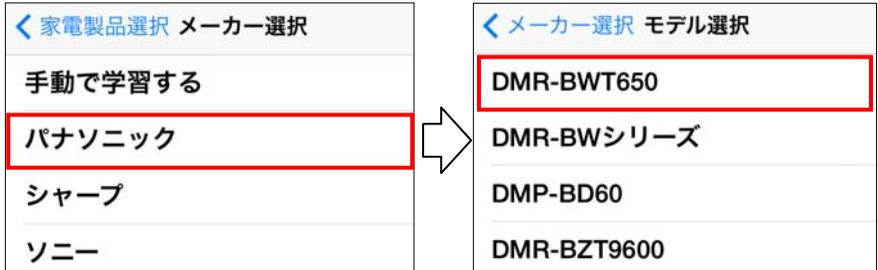
4. プリセットデータのリモコン画面が表示されます。このままりモコンとして使用できます。



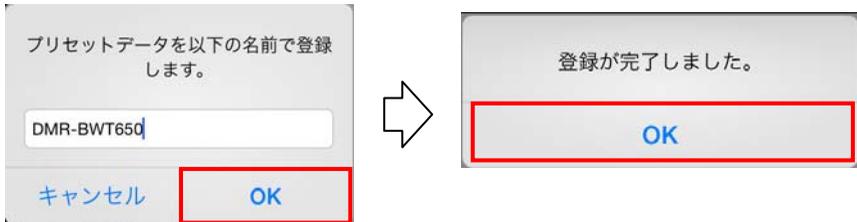
※左右のスワイプ操作で画面を切り替えることができます。

▶▶ 3-2-2.ブルーレイ/DVDレコーダーを登録する

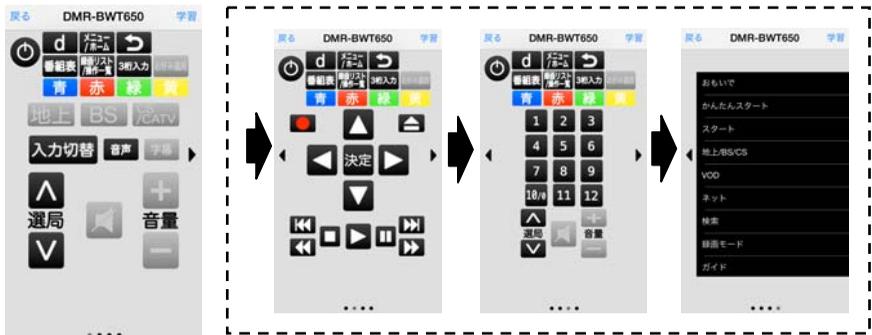
1. 「[3-2.アプリにプリセットデータを登録する](#)」の手順で、[ブルーレイ/DVDレコーダー]を選択します。
2. “メーカー選択”画面、“モデル選択”画面が表示されます。順番に選択してください。該当するものがない場合は、[手動で学習する]を選択してください。学習手順は「[3-3-2.ブルーレイ/DVDレコーダーを学習させる](#)」をご参照ください。
※ここでは例として、パナソニックを選択して説明します。



3. 名前を登録します。プリセットデータにはあらかじめ名前が入力されています。変更する場合は、名前を入力してから[OK]をタップしてください。「登録が完了しました。」が表示されます。[OK]をタップして登録完了です。
※名前は後から変更できます。詳細は「[8-3.登録済み家電製品を編集する](#)」をご参照ください。



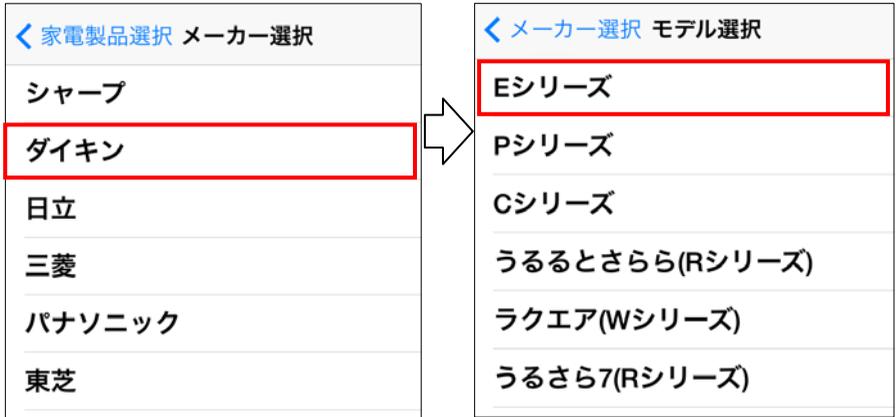
4. プリセットデータのリモコン画面が表示されます。このままりモコンとして使用できます。



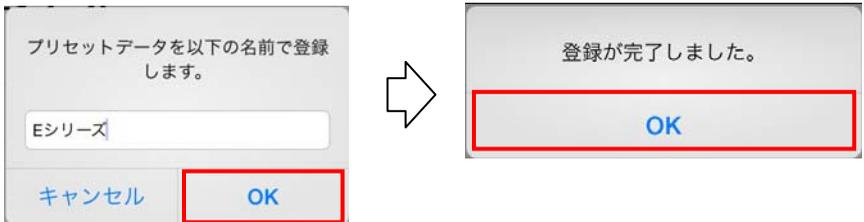
※左右のスワイプ操作で画面を切り替えることができます。

▶▶ 3-2-3. エアコンを登録する

1. 「[3-2. アプリにプリセットデータを登録する](#)」の手順で、[エアコン]を選択します。
2. “メーカー選択”画面、“モデル選択”画面が表示されます。順番に選択してください。
※エアコンはプリセットデータのみ対応となります。
※ここでは例として、ダイキンを選択して説明します。



3. 名前を登録します。プリセットデータにはあらかじめ名前が入力されています。変更する場合は、名前を入力してから[OK]をタップします。「登録が完了しました。」が表示されます。[OK]をタップして登録完了です。
※名前は後から変更できます。詳細は「[8-3. 登録済み家電製品を編集する](#)」をご参照ください。

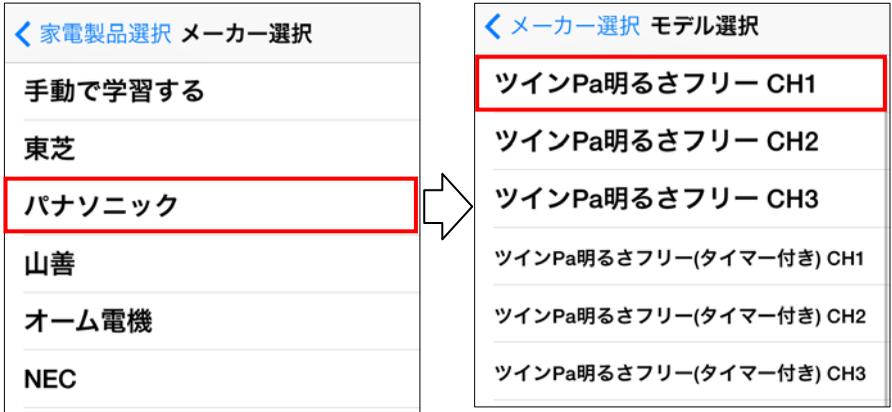


4. プリセットデータのリモコン画面が表示されます。このままリモコンとして使用できます。
※温度のみ変更可能。風量や風向は自動設定になります。

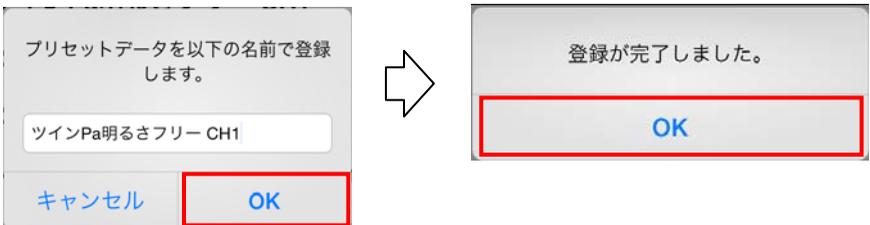


▶▶ 3-2-4.照明を登録する

1. 「[3-2.アプリにプリセットデータを登録する](#)」の手順で、[照明]を選択します。
2. “メーカー選択”画面、“モデル選択”画面が表示されます。順番に選択してください。該当するものがない場合は、[手動で学習する]を選択してください。学習手順は「[3-3-3.照明を学習させる](#)」をご参照ください。
※ここでは例として、パナソニックを選択して説明します。

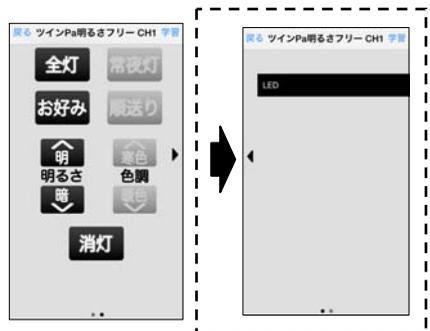


3. 名前を登録します。プリセットデータにはあらかじめ名前が入力されています。変更する場合は、名前を入力してから[OK]をタップします。「登録が完了しました。」が表示されます。[OK]をタップして登録完了です。
※名前は後から変更できます。詳細は「[8-3.登録済み家電製品を編集する](#)」をご参照ください。



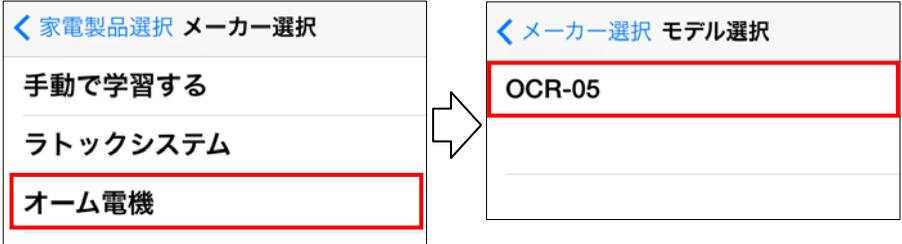
4. プリセットデータのリモコン画面が表示されます。このままリモコンとして使用できます。

※左右のスイープ操作で画面を切り替えることができます。

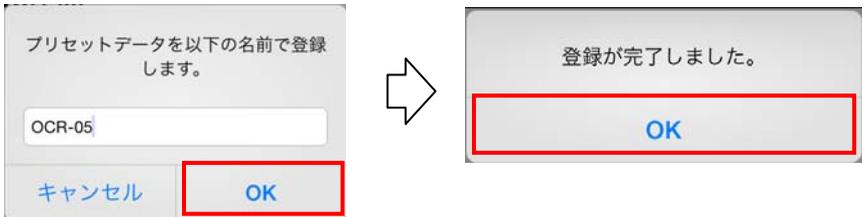


▶▶ 3-2-5. その他の家電製品を登録する

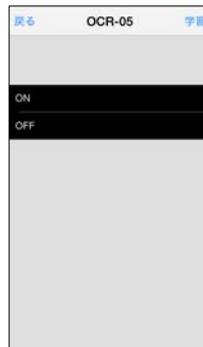
1. 「[3-2. アプリにプリセットデータを登録する](#)」の手順で、[その他の家電製品]を選択します。
2. “メーカー選択”画面、“モデル選択”画面が表示されます。順番に選択してください。該当するものがない場合は、[手動で学習する]を選択してください。学習手順は「[3-3-4. その他の家電製品を登録させる](#)」をご参照ください。
※ここでは例として、オーム電機を選択して説明します。



3. 名前を登録します。プリセットデータにはあらかじめ名前が入力されています。変更する場合は、名前を入力してから[OK]をタップします。「登録が完了しました。」が表示されます。[OK]をタップして登録完了です。
※名前は後から変更できます。詳細は「[8-3. 登録済み家電製品を編集する](#)」をご参照ください。



4. リモコン画面が表示されます。このままリモコンとして使用できます。

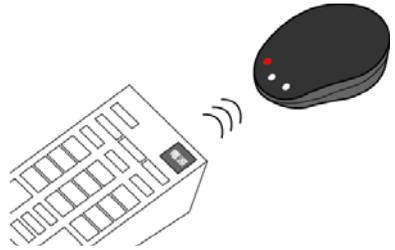


▶ 3-3. アプリに手動で学習させる

“家電製品選択”画面に該当する家電製品がない場合や、“家電製品選択”画面のリストにはあるが、メーカーやモデル名がリストにない場合は、手動で学習させる必要があります。

▶▶ 3-3-1. テレビ/セットトップボックスを学習させる

1. 「[3-2.アプリにプリセットデータを登録する](#)」の手順で、[テレビ/セットトップボックス]を選択します。
2. “メーカー選択”画面で、[手動で学習する]をタップします。
3. [手動で学習する]をタップすると、リモコン画面が表示されます。画面上の学習させたいリモコンボタンをタップしてください。本体の学習 LED が赤く点灯したら、リモコンを向け、学習させたいボタンを押します。学習が完了すると、学習 LED は消灯します。



4. 画面上のリモコンボタンに色が付きます。続けて他のリモコンボタンを学習させる場合は、上記手順 3 を繰り返します。学習を終了する場合は、[完了]をタップします。学習させたデータの名前を入力してから[OK]をタップしてください。

※名前は後から変更できます。「[8-3.登録済み家電製品を編集する](#)」をご参照ください。



5. 「登録が完了しました。」と表示されます。[OK]をタップして登録完了です。
※右の完了画面で[OK]をタップしなければ、アプリに登録されません。

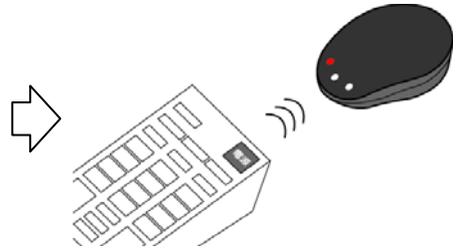


▶▶ 3-3-2.ブルーレイ/DVDレコーダーを学習させる

1. 「[3-2.アプリにプリセットデータを登録する](#)」の手順で、[ブルーレイ/DVDレコーダー]を選択します。
2. “メーカー選択”画面で、[手動で学習する]をタップします。



3. [手動で学習する]をタップすると、リモコン画面が表示されます。画面上の学習させたいリモコンボタンをタップしてください。本体の学習 LED が赤く点灯したら、リモコンを向け、学習させたいボタンを押します。学習が完了すると、学習 LED は消灯します。



4. 画面上のリモコンボタンに色が付きます。続けて他のリモコンボタンを学習させる場合は、上記手順3を繰り返します。学習を終了する場合は、[完了]をタップします。学習させたデータの名前を入力してから[OK]をタップしてください。※名前は後から変更できます。「[8-3.登録済み家電製品を編集する](#)」をご参照ください。

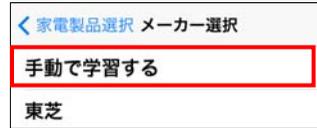


5. 「登録が完了しました。」と表示されます。[OK]をタップして登録完了です。※右の完了画面で[OK]をタップしなければ、アプリに登録されません。

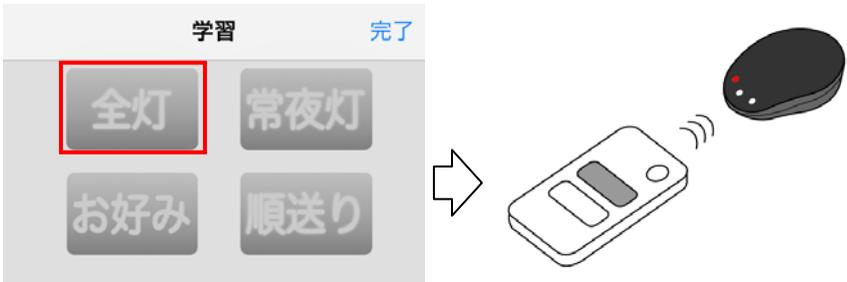


▶▶ 3-3-3. 照明を学習させる

1. 「[3-2. アプリにプリセットデータを登録する](#)」の手順で、[照明]を選択します。
2. “メーカー選択”画面で、[手動で学習する]をタップします。



3. [手動で学習する]をタップすると、リモコン画面が表示されます。画面上の学習させたいリモコンボタンをタップしてください。本体の学習 LED が赤く点灯したら、リモコンを向け、学習させたいボタンを押します。学習が完了すると、学習 LED は消灯します。



4. 画面上のリモコンボタンに色が付きます。続けて他のリモコンボタンを学習させる場合は、上記手順 3 を繰り返します。学習を終了する場合は、[完了]をタップします。学習させたデータの名前を入力してから[OK]をタップしてください。※名前は後から変更できます。「[8-3. 登録済み家電製品を編集する](#)」をご参照ください。



5. 「登録が完了しました。」と表示されます。[OK]をタップして登録完了です。※右の完了画面で[OK]をタップしなければ、アプリに登録されません。



▶▶ 3-3-4. その他の家電製品を学習させる

1. 「[3-2. アプリにプリセットデータを登録する](#)」の手順で、[その他の家電製品]を選択します。
2. “メーカー選択”画面で、[手動で学習する]をタップします。

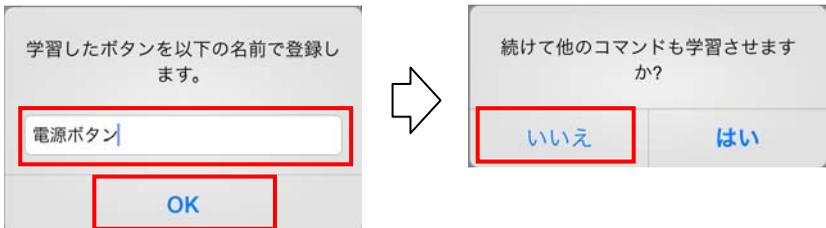


3. [手動で学習する]をタップすると、本体の学習 LED が赤く点灯します。リモコンを向け、学習させたいボタンを押します。学習が完了すると、学習 LED は消灯します。

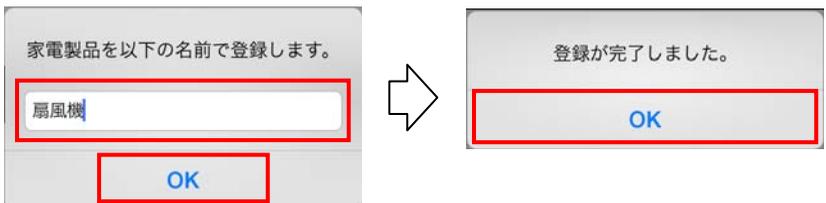


4. 学習させたリモコン信号の名前を入力し、[OK]をタップします。続けて学習させる場合は、[はい]をタップします。本体の LED が赤く点灯したら、上記手順 3 のリモコン操作を繰り返してください。学習を終了する場合は、[いいえ]をタップします。

※名前は後から変更できます。「[8-3. 登録済み家電製品を編集する](#)」をご参照ください。



5. 家電製品の名前を入力し、[OK]をタップします。「登録が完了しました。」と表示されます。[OK]をタップして登録完了です。※右下の完了画面で[OK]をタップしなければ、アプリに登録されません。



4. 家電製品を操作する

スマホで家電製品を操作します。

※ここでは例として、[リビングのテレビ]の電源を入れます。

1. 赤外線有効範囲を参考にし、各家電製品に信号が届く向きに本製品を設置します。
2. アプリをタップして起動し、“登録済み家電製品一覧”から[リビングのテレビ]を選択します。

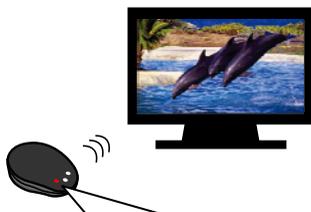


3. リモコン画面が表示されます。電源ボタン（)をタップするとテレビの電源が入ります。

※ボタンの長押しによる操作には対応していません。

例) レコーダーの早送りボタンの長押しによるスキップなど

※複数台使用する場合は、「[8-1.本体が複数台ある場合、切り替えて使用する](#)」をご参照ください。



赤外線送信時、学習 LED が点滅します。

BS や CS のチャンネルの変え方について

アプリのリモコンボタンの[BS]や[CS]をタップすることで、リモコンのチャンネルモードが“地上”から“BS”や“CS”に切り替わります（文字がオレンジ色に変わります）。文字がオレンジになったことを確認して、チャンネルボタンをタップすると、BSやCSのチャンネルを変えることができます。

5. 登録した家電製品を編集する

▶ 5-1. 家電製品の編集

登録した家電製品のリモコン信号を追加、変更、削除できます。

※画面はiOSの場合です。Androidでは、画面が若干異なる場合があります。

1. “登録済み家電製品一覧”画面で、家電製品を選択します。



2. 選択した家電製品のリモコン画面が表示されますので、[学習]をタップします。

※Androidの場合は、メニューボタン(☰)をタップします。機種により、メニューボタン(⋮)は画面右上に表示される場合があります。



3. 右図の選択画面が表示されます。下表の説明を参考にして、項目を選択してください。



4. 各項に進み、作業をしてください。

項目	説明	手順参照ページ
お好み設定	新しいリモコンボタンを追加します。該当するボタンがリモコン画面にないときにご使用ください。	「5-1-1.ボタンの追加 (お好み設定)」 へ
ボタンの再学習	登録したリモコンボタンを編集します。	「5-1-2.ボタンの編集 (ボタンの再学習)」 へ
ボタンの学習内容削除	登録したリモコン信号をリモコンボタンから削除します。	「5-1-3.ボタンの削除 (ボタンの学習内容削除)」 へ

▶▶ 5-1-1. ボタンの追加（お好み設定）

リモコン画面に、新しいリモコンボタンを追加します。該当するボタンがリモコン画面にないときにご使用ください。

※ここでは例として、登録した家電製品がテレビの場合（登録名は「リビングのテレビ」で説明します）。

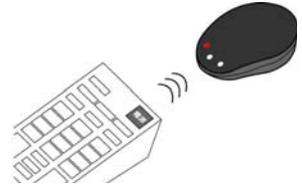
1. 「[5-1.家電製品の編集](#)」の手順で、[お好み設定]をタップします。
表示された画面右上の[+]（Androidの場合は、[ボタン追加]）をタップします。



[編集]

お好み設定で追加したりリモコンボタンの削除や名前変更、並び替えをおこなう場合に使用します。詳細は「[5-2. お好み設定で追加した家電製品の編集](#)」を参照ください。

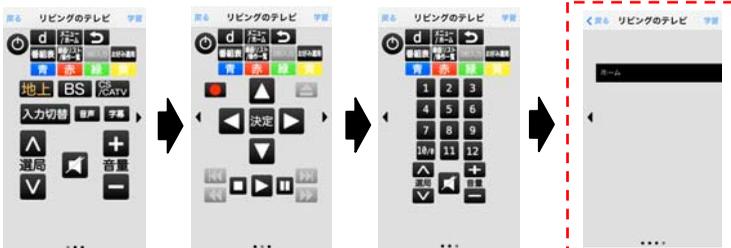
2. 本体の学習 LED が赤く点灯したら、リモコンを向け、学習させたいボタンを押します。
学習が完了すると、学習 LED は消灯します。



3. リモコン信号の名前を入力し、[OK]をタップします。
「登録が完了しました。」と表示されます。[OK]をタップして登録完了です。
学習を続ける場合は、手順 1.から繰り返します。
※右下の完了画面で[OK]をタップしなければ、アプリに登録されません。



4. リモコン画面の最後ページ（以降、お好みボタンページと呼びます）に、リモコンボタンが追加されます。



お好みボタンページ

▶▶ 5-1-2. ボタンの編集 (ボタンの再学習)

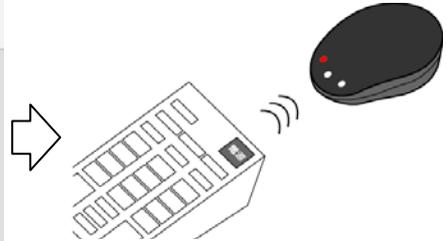
[ボタンの再学習]では、以下の編集ができます。

- ・リモコン信号の追加
- ・登録したリモコン信号の変更



▶▶▶ 5-1-2-1. リモコン信号の追加

1. 「[5-1.家電製品の編集](#)」の手順で、[ボタンの再学習]をタップします。
2. リモコン画面が表示されます。未登録のリモコンボタンをタップします。本体の学習 LED が赤く点灯したら、リモコンを向け、学習させたいボタンを押します。学習が完了すると、本体のLED が消灯します。

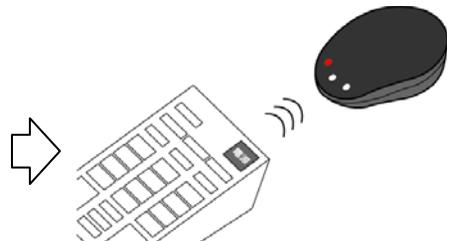


3. 画面上のリモコンボタンに色が付きます。[完了]をタップして、登録完了です。



▶▶▶ 5-1-2-2. 登録したリモコン信号の変更

上記「[5-1-2-1.リモコン信号の追加](#)」と手順は同じです。
手順 2.で、画面上の登録済みのリモコンボタンをタップしてください。



▶▶ 5-1-3. ボタンの削除（ボタンの学習内容削除）

1. 「[5-1.家電製品の編集](#)」の手順で、[ボタンの学習内容削除]をタップします。



2. リモコン画面が表示されます。登録を削除するリモコンボタンをタップします。削除の確認メッセージで、[はい]をタップします。



3. リモコンボタンの色が薄くなります。[完了]をタップして、削除完了です。

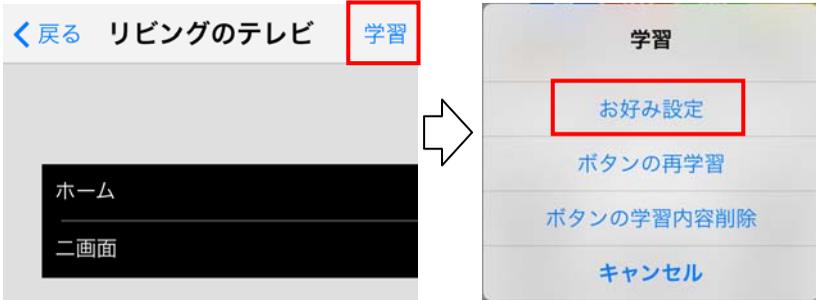


5-2. お好み設定で追加した家電製品の編集

5-2-1.iOSで編集する

お好み設定で追加したリモコンボタンの削除や並び替え、名前変更ができます。

1. お好みボタンのページを表示し、[学習]をタップします。
表示された選択メニューから、[お好み設定]をタップします。



2. 設定画面に切り替わります。[編集]をタップしてください。



3. 編集画面に切り替わります。下記の画面説明を参考に編集してください。[完了]をタップして、編集は完了です。

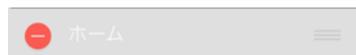
[削除] —————
タップすると削除画面に切り替わります。
[削除]をタップして削除します。



[名前変更] —————
名前をタップすると入力モードに切り替わります。



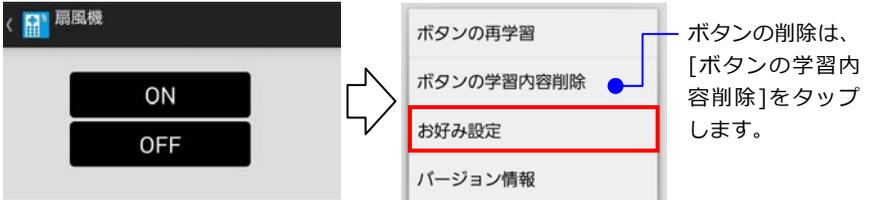
[並び替え] —————
つまみを長くタップし、表示が透明になるとリストを移動ができます。
※iOSのみ対応。



▶▶ 5-2-2.Androidで編集する

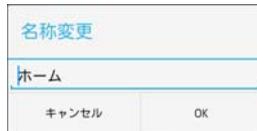
お好み設定で追加したリモコンボタンの削除や並べ替え、名前変更ができます。

1. お好みボタンのページを表示し、メニューボタン(☰)*をタップします。表示されたメニューから、[お好み設定]をタップします。
※機種により、メニューボタン(☰)は画面右上に表示される場合があります。



2. 編集画面に切り替わりますので、下記の画面説明を参考に編集してください。[完了]をタップして、編集は完了です。

[名前変更]
名前をタップすると入力画面に切り替わります。



[並べ替え]
つまみを上下にスライドすると、ボタンを移動できます。



[ボタンの学習内容削除]をタップした場合は、ボタンの削除画面に切り替わります。[完了]をタップして、削除は完了です。

[削除]
タップすると確認メッセージが表示されます。[はい]をタップします。



6. タイマー機能を使用する

指定した時刻に本体からリモコン信号を発信し、家電製品を制御する機能です。タイマー機能のない家電製品にも、タイマーを設定できます。

タイマー登録数：21 個まで

※例えば、毎週月・水のタイマーを設定すると2個とカウントされます。

▶ 6-1. iOSでタイマー機能を使用する

▶▶ 6-1-1. タイマーを設定する

1. アプリを起動し“登録済み家電製品一覧”画面の[タイマー]をタップします。



2. “タイマー”画面が表示されます。[編集]をタップし、次の画面で[追加]をタップしてください。



3. タイマーの設定画面が表示されます。対象家電製品を選択してください。
※ここでは、例として“リビングのテレビ”を選択しています。



4. リモコン画面が表示されます。タイマーに設定するリモコンボタンを選択してください。
※ここでは、例として“電源”を選択しています。



5. 下記の画面説明を参考に、“繰り返し”や“指定時刻”などを設定します。

[完了]をタップし、タイマー設定完了です。

※ここでは、例として「2015年3月24日11時45分に“リビングのテレビ”の電源ボタンを押す」場合を設定しています。

--- タップすると対象家電製品を一覧から選択できます。

--- タップすると登録名を編集できます。

--- 登録を変更するには、この画面上の対象家電製品の選択からやり直してください。

[繰り返し]

タイマーの繰り返しを設定します。

■ [一回のみ]を選択

“指定時刻”で設定した日付と時刻にタイマーを実行します。

■ [繰り返し]を選択

曜日の設定画面が表示され、毎週、“指定時刻”で設定した時刻にタイマーを実行します。

[指定時刻]

タイマーを実行する日付と時間を設定します。

ドラムを上下にスライドさせて、設定します。

※日付は、1週間後より先の設定はできません。

6. [完了]をタップすると、“タイマー”画面に、タイマーが有効な状態で登録され、本体の予約LEDが赤く点灯します。

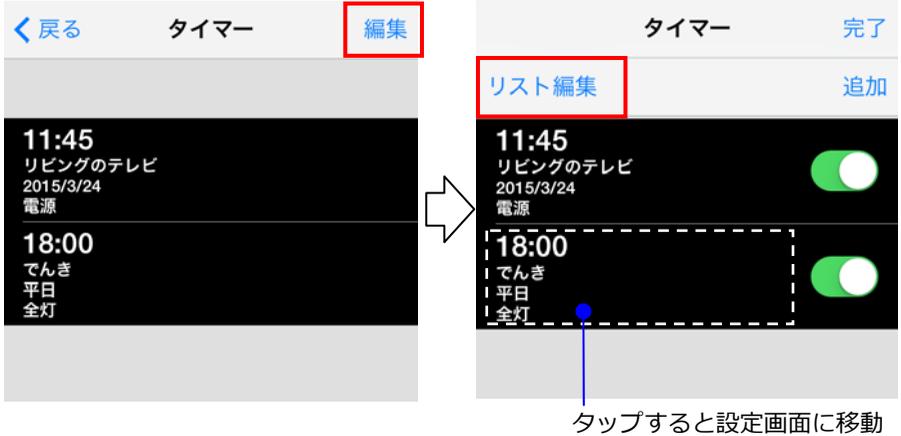


タップして、タイマーの有効/無効を切り替えることができます。

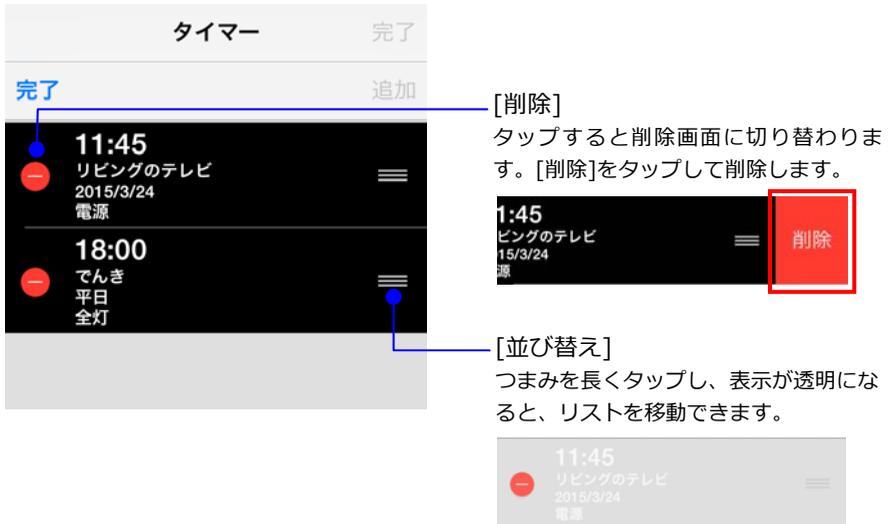
▶▶ 6-1-2. 設定したタイマーを編集する

設定したタイマー機能の名前変更や、削除などを操作します。

1. “タイマー”画面の[編集]をタップすると、タイマー時間や名称を変更できます。リストをタップして、設定画面に移動します。削除や並び替えをおこなう場合は、[リスト編集]をタップします。



2. リスト編集の画面に切り替わります。下記の画面説明を参考に編集します。



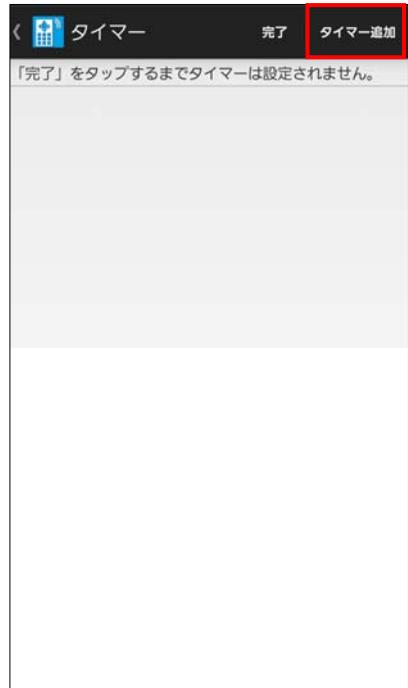
▶ 6-2. Androidでタイマー機能を使用する

▶▶ 6-2-1.タイマーを設定する

1. アプリを起動し、メニューボタン (☰) をタップします。表示されたメニューから[タイマー]をタップします。
※機種により、メニューボタン (⋮) は画面右上に表示される場合があります。



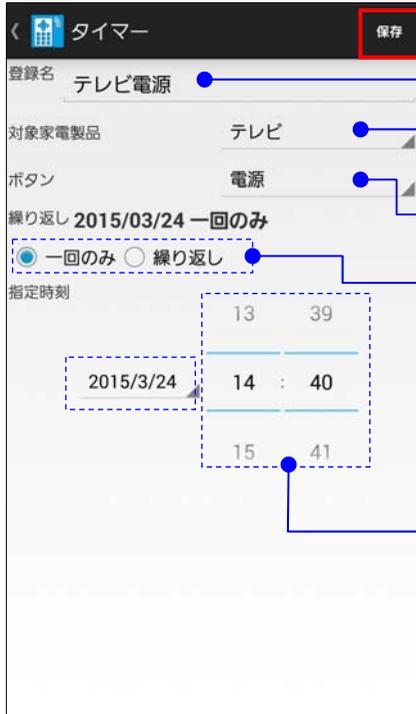
2. [タイマー追加]をタップします。



3. タイマーの設定画面が表示されます。

下記の画面説明を参考に設定をおこない、[保存]をタップします。

※ここでは、例として「2015年3月24日14時40分に“テレビ”の電源ボタンを押す」場合を設定しています。



タップすると、登録名を編集できます。

タップすると、対象家電製品を一覧から選択できます。

タップすると、ボタンを一覧から選択できます。

タイマーの繰り返しを設定します。

■ [一回のみ] を選択

“指定時刻”で設定した日付と時刻にタイマーを実行します。

■ [繰り返し] 選択

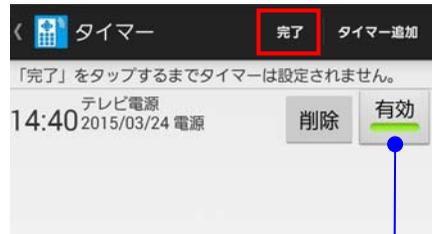
曜日の設定画面が表示され、毎週“指定時刻”で設定した時刻にタイマーを実行します。

タイマーを実行する日付と時刻を設定します。

ドラムを上下にスライドし、設定します。

※日付は、1週間後より先の設定はできません。

4. [完了]をタップすると、“タイマー”画面にタイマーが有効な状態で登録され、本体の予約LEDが赤く点灯します。



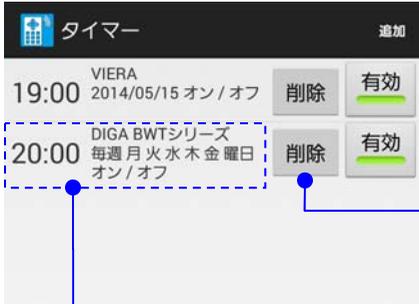
タップして、タイマーの有効/無効を切り替えることができます。

▶▶ 6-2-2.設定したタイマーを編集する

設定したタイマー機能の名前変更や、削除などを操作します。

“タイマー”画面に設定したタイマーがリストで表示されます。タイマーの時間や繰り返しの設定などは、リストをタップすることで設定画面に切り替わります。

削除やタイマーの有効/無効はリスト内のボタンをタップして変更できます。



タップすると設定画面に移動

タップすると削除画面に切り替わります。[はい]をタップします。



7. 登録した家電製品を他のスマホにコピーする

スマホの機種変更時や、他のスマホでも操作したいときに、登録する手間を省けます。

▶ 7-1. アプリからエクスポートする

スマホから登録済みの家電製品を書き出します。

▶▶ 7-1-1.iOSでエクスポートする

1. アプリを起動し、“登録済み家電製品一覧”画面の[エクスポート]をタップします。



2. 右図の確認画面が表示されます。ここでは、例として[一括]を選択します。

- [一括]を選択した場合
登録済みの家電製品全てをエクスポートします。
- [個別選択]を選択した場合
右下の選択画面が表示されますので、エクスポートしたい家電製品を選択します。



<個別選択画面の例>



3. メール画面が表示されます。宛先を入力し、[送信]をタップします。
“件名”や“本文”の文字は変更できます。

■ iOS にコピーする場合

iTunes がインストールされたパソコンへメール送信してください。iOS にインポートするには、iTunes で操作する必要があります。

■ Android にコピーする場合

Android 端末のメールアドレスを入力して送信してください。Android にインポートするには、ダウンロードフォルダーに添付ファイルを保存する必要があります。



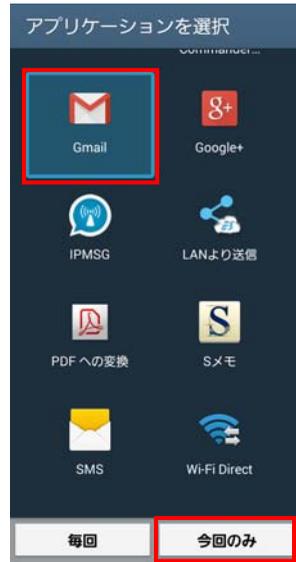
▶▶ 7-1-2.Androidでエクスポートする

1. アプリを起動し、メニューボタン (☰) をタップします。表示されたメニューから[エクスポート]をタップします。

※機種により、メニューボタン (⋮) は画面右上に表示される場合があります。



2. エクスポートするファイルを選択し、[OK]をタップします。
表示されたアプリケーションの選択画面で、メールアプリを選択します。
※ここでは、Gmail を選択しています。
※エクスポートファイルはメールアプリに添付する以外に、ファイル管理ソフトで保存することもできます。



■ エクスポート対象の選択画面



※すべてを選択すると、登録済みの家電製品全てをエクスポートします。

3. メール送信の画面に切り替わります。宛先を入力し、メールを送信します。
※ここでは Gmail を例とし、件名・本文はデフォルトのまま表示しています。



7-2. アプリにインポートする

7-2-1.iOSのアプリにインポートする

※インポートするスマホに、アプリをインストールしておく必要があります。

1. パソコンで受信したメールを開き、添付ファイルをパソコン本体に保存します。



2. iOS 端末をパソコンに接続し、iTunes を起動します。画面右上に表示される iOS 端末をクリックします。

※ここでは、例として iOS 端末が iPhone の場合で説明します。



許可を求められた場合

iOS 端末をパソコンに接続したとき、許可を求められる場合があります。パソコンと iOS 端末で接続の許可をしてください。

3. メニューから[APP]を選択し、“ファイル共有”欄の[BTIREX1]を選択します。[追加]をクリックし、手順 1.でパソコンに保存したファイルを選択します。



4. “BTIREX1 の書類”欄にエクスポートしたファイルが表示されます。



5. iOS 端末でアプリを起動し、“登録済み家電製品一覧”画面の[追加]をタップします。



6. [インポート]をタップすると、iTunes に追加したファイルが表示されます。ファイルをタップし、インポートを開始します。インポートが完了すると、ファイルは消えます。



▶▶ 7-2-2.Androidのアプリにインポートする

※インポートするスマホに、アプリをインストールしておく必要があります。

1. 受信したメールを開きます。
[⋮] をタップし、メニューから[保存]をタップします。

※ここではエクスポートファイルを Gmail で受信した場合を説明しています。

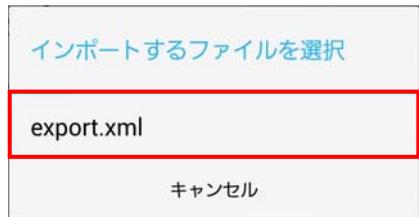
※ファイル管理アプリなどを使用する場合、エクスポートファイルは Download フォルダに保存する必要があります。



2. アプリを起動し、メニューボタン (☰) をタップします。表示されたメニューから[インポート] をタップします。
※機種により、メニューボタン (⋮) は画面右上に表示される場合があります。



3. ファイル選択の画面が表示されます。[export.xml]をタップすると、インポートが完了します。
※[export.xml]はデフォルト設定の名前です。



8. こんなときは

▶ 8-1. 本体が複数台ある場合、切り替えて使用する

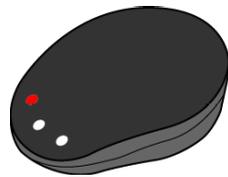
接続する本体を選択して切り替えることができます。本体の学習 LED を点灯させて、接続している本体を確認できます。

▶▶ 8-1-1. iOSで接続する本体を変更する

アプリを起動し、“登録済み家電製品一覧”画面の[学習リモコン選択]をタップします。“学習リモコン選択”画面が表示されますので、選択して[✓]が付くと変更完了です。



選択した本体を確認したい場合、[選択対象のLEDを点灯]をタップすると、接続している本体の学習 LED が赤く点灯します。



▶▶ 8-1-2.Androidで接続する本体を変更する

※スマホとのペアリングが1台のみの場合、[学習リモコン選択]はタップできません。

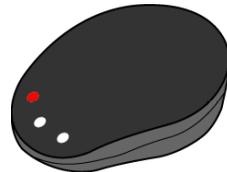
アプリを起動し、メニューボタン (☰) をタップします。表示されたメニューから[学習リモコン選択] をタップします。

“学習リモコン選択”画面が表示されますので、選択して[●]が付くと変更完了です。



※機種により、メニューボタン (⋮) は画面右上に表示される場合があります。

選択した本体を確認したい場合、[選択対象のLEDを点灯]をタップすると、接続している本体の学習LEDが赤く点灯します。



▶ 8-2. 名前を変更して本体を判別したい

“学習リモコン選択”画面で名前を変更できます。名前はスマホ本体に登録されるため、複数のスマホで使用する場合は、各スマホで名前を変更してください。

▶▶ 8-2-1.iOSで名前変更

1. アプリを起動し、“登録済み家電製品一覧”画面の[学習リモコン選択] をタップします。
表示された“学習リモコン選択”画面で、[編集]をタップします。

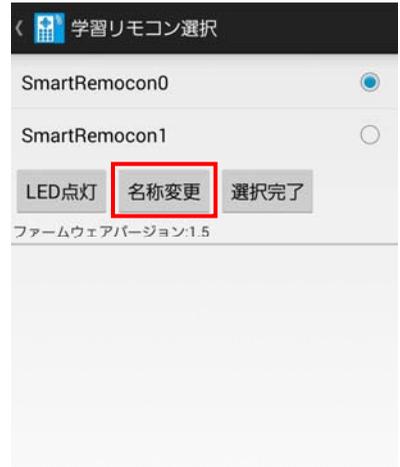


2. 文字を入力できる状態に切り替わりますので、名前をタップして新しい名前を入力し、[完了]をタップします。



▶▶ 8-2-2.Androidで名前変更

1. アプリを起動し、メニューボタン (☰) をタップします。表示されたメニューから[学習リモコン選択] をタップします。
表示された“学習リモコン選択”画面で、[名称変更]をタップします。



※機種により、メニューボタン (☰) は画面右上に表示される場合があります。

2. “名称変更”画面が表示されます。名前をタップして新しい名前を入力し、[OK] をタップします。



▶ 8-3. 登録済み家電製品を編集する

“登録済み家電製品一覧”画面にリストされた家電製品の名前変更や削除、リストの並べ替えができます。

▶▶ 8-3-1.iOSでの登録済み家電製品の編集

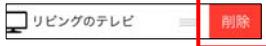
1. アプリを起動し、“登録済み家電製品一覧”画面の[編集] をタップします。



2. 編集画面に切り替わりますので、下記の画面説明を参考に編集します。

[削除]

タップすると削除画面に切り替わります。[削除]をタップして削除します。



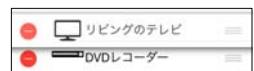
[名前変更]

名前をタップすると入力モードに切り替わります。



[並び替え]

つまみを長くタップすると、表示が透明になり、リストを移動できます。



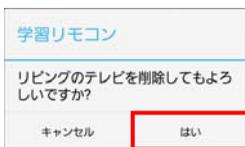
▶▶ 8-3-2.Androidでの登録済み家電製品の編集

1. アプリを起動し、メニューボタン (☰) をタップします。表示されたメニューから[家電製品一覧編集]をタップします。
※機種により、メニューボタン (⋮) は画面右上に表示される場合があります。



2. 編集画面に切り替わりますので、下記の画面説明を参考に編集します。

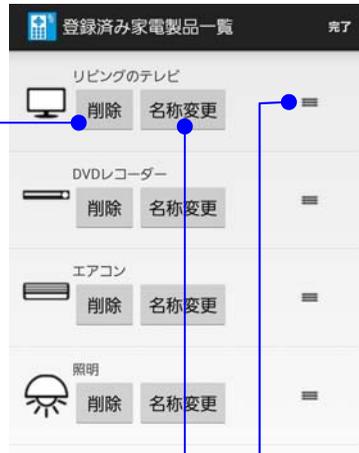
[削除]
タップすると削除画面に切り替わります。[はい]をタップします。



[名称変更]
タップすると入力画面に切り替わります。入力後、[OK]をタップして変更は完了です。



[並び替え]
つまみを上下にスライドすると、リストを移動できます。



9. ファームウェアアップデート

本製品は機能の充実や改良のため、新しいバージョンのファームウェアを提供することがあります。ファームウェアアップデートを実行し、本体を最新の状態に更新してください。

9-1. iOSでファームウェアアップデートする

1. アプリを起動し“登録済み家電製品一覧”画面の[学習リモコン選択]をタップします。



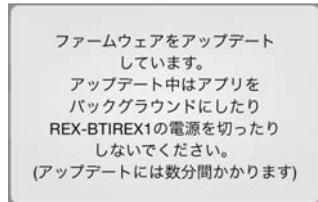
2. [ファームウェアアップデート]をタップします。
※[ファームウェアアップデート]ボタンは、最新のファームウェアが存在するときにだけ表示されます。



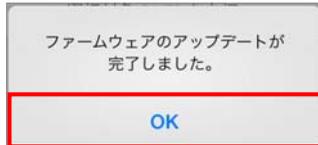
- 表示されたメッセージの内容を確認し、[OK] をタップします。



- ファームウェアのアップデートが開始されます。



- ファームウェアのアップデートが完了しました。[OK]をタップします。



▶ 9-2. Androidでファームウェアアップデートする

- アプリを起動し、メニューボタン (☰) をタップします。表示されたメニューから[インポート] をタップします。
※機種により、メニューボタン (⋮) は画面右上に表示される場合があります。

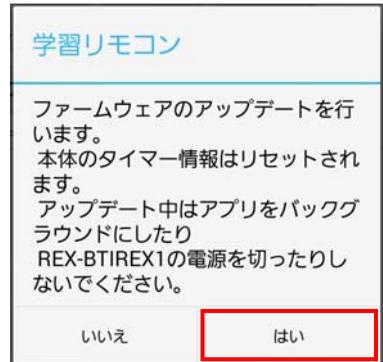


2. [ファームウェアアップデート]をタップします。

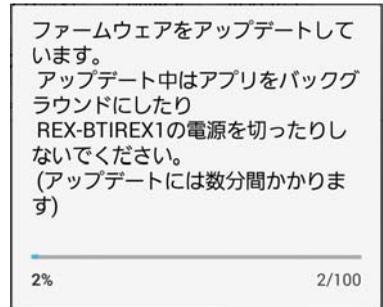
※[ファームウェアアップデート]ボタンは、最新のファームウェアが存在するときにだけ表示されます。



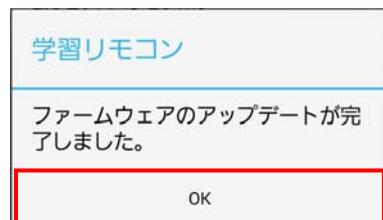
3. 表示されたメッセージの内容を確認し、[OK]をタップします。



4. ファームウェアのアップデートが開始されます。



5. ファームウェアのアップデートが完了しました。[OK]をタップします。



10. お問い合わせ

お問い合わせいただいたお客様の個人情報は、サポート目的のみに使用し、他の目的には使用しません。

弊社の個人情報取り扱いに関する詳細は、弊社ホームページをご覧ください。

<http://www.ratocsystems.com/info/privacy.html>

▶ 10-1. お問い合わせ

本製品に関するご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。お問い合わせの際は、ご使用の携帯端末、パソコンなどの環境や症状をできる限り具体的にお知らせください。

ご質問に対する回答は、下記の営業時間内となります。ご質問の内容によりましては、弊社にてテスト・チェック等の関係上、回答までに時間を要する場合もございますので、あらかじめご了承ください。

ラトックシステム株式会社 サポートセンター

〒556-0012

大阪市浪速区敷津東 1-6-14 朝日なんばビル

TEL 大阪 06-6633-0190

東京 03-5207-6410

FAX 06-6633-3553 (FAX は 24 時間受付)

(営業時間)

月曜～金曜 10:00～13:00、14:00～17:00

土曜・日曜・祝日及び弊社指定の休日を除く

ホームページで最新の情報をお届けしております。

またホームページ上からのご質問・お問い合わせも可能です。

<http://www.ratocsystems.com/>

▶ 10-2. 修理について

万一故障した場合は、本製品に添付の保証書記載内容に基づいて修理致します。

故障と思われる症状が発生した場合は、まず本書を参照し、接続や設定が正しくおこなわれているかどうかご確認ください。現象が改善されない場合は、弊社ホームページの下記アドレス「修理について」を参照し、弊社修理センター宛に製品をお送りください。なお、修理は部品修理ではなく、交換対応となることをご了承ください。修理に関してご不明な点がありましたら、弊社サポートセンターまでご相談ください。



修理についてのご案内

<http://www.ratocsystems.com/services/repair/contents.html>

11. 一般仕様

製品名称	Bluetooth 対応 学習リモコンユニット
製品型番	REX-BTIREX1
対応機種	<ul style="list-style-type: none"> ・iOS6.0以降を搭載した iPhone 6/6 Plus/5s/5c/5/4s、iPad (第 4/3 世代)、iPad Air、iPad Air 2、iPad mini 3、iPad mini 2、iPad mini、iPod touch (第 5 世代) ・Android4.0以降
インターフェイス	Bluetooth Ver4.0+LE、Ver3.0 Class2 準拠
対応プロファイル	Bluetooth3.0 : SPP Bluetooth4.0 BLE : GATT
送信周波数範囲	2.4GHz
Bluetooth 通信距離	最大 10m (使用環境によって異なります)
LED	<p>電源 LED (青色) : 電源 ON 時、点灯</p> <p>LINK LED (青色) : 接続時、2 回点滅/非接続時、1 回点滅</p> <p>学習 LED (赤色) : 学習モード時に点灯、赤外線送信時に点滅</p> <p>予約 LED (赤色) : 予約時、点灯</p>
対応信号フォーマット	<p>SONY フォーマット、NEC フォーマット、家電製品協会フォーマット、その他メーカー独自フォーマット</p> <p>※すべての動作を保証するものではありません。</p>
IR 有効範囲	最大 8m、水平方向：最大 360 度、垂直上方向：最大 180 度
電源電圧	DC+5V 1000mA (添付の USB AC アダプターより供給)
消費電流	赤外線未送信時：100mA、赤外線送信時：200mA
動作環境	温度：10～40℃、湿度：20～80% (ただし結露しないこと)
外形寸法	約 130 (L) × 110 (W) × 45 (H) mm (突起部含まず)
重量	約 30g (本体のみ)
保証期間	1 年

【ご注意】

- ※本製品は日本国内使用となっており、海外での保守、およびサポートは行っておりません。
- ※製品改良のため、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。
- ※本製品の保証や修理に関しては、添付の保証書に記載されております。必ず内容をご確認の上、大切に保管してください。
- ※運用の結果につきましては責任を負いかねますので、予めご了承ください。
- ※本製品の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- ※本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例に従ってください。条例の内容については各地方自治体にお問い合わせください。

【本書について】

- ※本書の著作権はラトックシステム株式会社にあります。
- ※本書の内容につきましては万全を期して作成しておりますが、万一不審な点や誤りなどお気づきになりましたらご連絡お願い申し上げます。
- ※本書の運用により生じた結果の影響については、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- ※本書の一部または全部を無断で使用・複製することはできません。
- ※本書の内容は、将来予告なく変更する場合があります。

REX-BTIREX1

Bluetooth 対応リモコンユニット

ユーザーズマニュアル

2015年4月 第2.0版

ラトックシステム株式会社

- “REX”は株式会社リコーが商標権を所有しておりますが、弊社はその使用許諾契約により本商標の使用が認められています。
- iPad、iPad mini、iPad Air、iPod、iPod touch、Apple は Apple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- IOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- App Store は Apple Inc.のサービスマークです。
- Android、Gmail、Google Play は Google Inc.の商標または登録商標です。
- Bluetooth は米国 Bluetooth SIG、Inc.の商標または登録商標です。
- その他本書に記載されている商品名/社名などは、各社の商標または登録商標です。なお本書では、TM、R マークは明記しておりません。